

第 35 回化学工学一関セミナー

— 社会の基盤を力強く支える化学工学の醍醐味 —

今回のセミナーでは、「社会の基盤を力強く支える化学工学の醍醐味」というテーマを設定しました。化学工学は、基礎的な化学現象を解析して、量産化装置の設計・製作・運転・社会実装までを対象とするプラグマティックな学問であり、19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけてアメリカで発展しました。化学工学を学んだ人材は産業界から極めて高く評価されており、21 世紀においてもその活躍の分野は広がっています。

本テーマに関して、産業界とアカデミアの世界で化学工学技術者として一線でご活躍されている 2 名の講師にご講演いただきます。ぜひ、多くの皆様方に参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

主催：岩手化学工学懇話会、一関工業高等専門学校
共催：化学工学会東北支部、粉体工学会東北談話会、一関高専教育研究振興会
後援：公益財団法人岩手県南技術研究センター
日時：2026 年 1 月 19 日(月) 13:10~15:00
会場：一関工業高等専門学校 第一講義室 (一関市萩荘字高梨)
(JR 一ノ関駅よりタクシー約 10 分)

■プログラム

開会挨拶： (13:10~13:15)

講演① 「分離・精製を支える技術：イオン交換樹脂とクロマトグラフィーの応用事例」
(13:15~14:00)
(三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社分離精製部分離精製センター福岡支店 主担)

西村 公志 氏

休憩・換気 14:00~14:05

講演② 「反応工学で挑戦—大気圧プラズマを利用した触媒フリー液相有機合成技術の構築—」 (14:05~14:50)
(一関工業高等専門学校未来創造工学科化学・バイオ系 助教)

千田 勤 氏

参加費：無料

申込み：申込フォーム(下記リンク、または右の二次元コードから)でお申し込みください。

(締切り 1 月 16 日(金)、当日現地での受付も可)

<https://forms.office.com/r/trfL2T0i9n>

電話またはメールでの申込の場合は、所属、連絡先(電話番号、メール)、参加者氏名(フリガナ)をお知らせください。

送信先：

一関高専総務課総務係 宛

TEL 0191-24-4704

E-mail: s-somu@ichinoseki.ac.jp

